

## むすびにかえて

本報告書をお読みいただきましてありがとうございます。

当社は今年、会社発足30年の節目を迎えました。30年前を振り返るとお客さまの信頼を取り戻し、黒字経営をめざすような厳しい状況でのスタートでした。そのような中、「鉄道の再生と復権を成し遂げよう」という決意をみなぎらせ、それぞれの職場で挑戦を続けてまいりました。30年経った現在、当社グループは順調に成長しておりますが、今日の当社グループがあるのは、お客さまや地域の皆さまをはじめ、多くのステークホルダーの皆さまのご支持とご支援があったからにほかなりません。

本報告書は当社グループの現在の事業活動の全体像をステークホルダーの皆さまにご理解いただくことを基本的な方針として作成いたしました。具体的には、当社グループの「安全」「社会」「環境」に関わる活動について、多くの定量的なデータを記載し、写真や図などを用いて分かりやすく紹介しております。また、前回の報告書発行後から現在に至るまでの大きなできごとや皆さまにお伝えしたいことについて、「特集」として報告書の冒頭に掲載しているほか、本文にも当社グループ社員の具体的な取組みを数多く掲載しております。これらによりステークホルダーの皆さまに当社グループへのご理解をより深めていただきたいと考えております。

今後も私たちは、お客さまや地域の皆さまから期待されている「変わらぬ使命」を果たすとともに、グループの持つ「無限の可能性」を追求し、現状に甘んじることなく、謙虚に日々の挑戦を続けていくことで、東日本エリアの発展と当社グループの持続的な成長の実現に向けて取り組んでまいります。

引き続き、国内外の動向も視野に入れながら、社会から寄せられるご期待やステークホルダーの皆さまからの信頼に応える企業グループをめざしてまいりますので、今後とも、当社グループの事業運営についてご理解をいただくとともに、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。



東日本旅客鉄道株式会社  
執行役員  
総合企画本部 経営企画部長  
喜勢 陽一